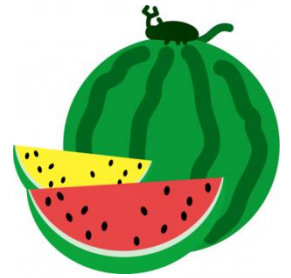




看護部通信



2020年7月

熱中症予防×コロナ感染防止で「新しい生活様式」が厚生労働省から発表されました。7月になり暑さも厳しくなりましたが、私達にはマスクが欠かせません。マスク着用で心拍数・呼吸数・血中二酸化炭素濃度・体温上昇などで身体に負担がかかりますので、こまめな水分補給、周囲の人との距離を十分とりマスクを適宜はずし十分な休憩をとりながら看護・介護を行って下さい。(看護師長会)

自粛生活を送って

7病棟 Y

コロナ禍が少しずつ落ち着き、休日は外出する人も増えてきているように感じます。幸い秋田は4月15日以降、新規のコロナ感染者が出ておらず安定しています。外出自粛要請が出てからの私は家飲みばかりで、外で友人や職場の同僚・先輩・後輩と話をしながら飲みたいと思っていました。しかし、いざ自粛要請解除となっても、外飲みの判断は難しく感じます。

外出自粛に伴い、世の中では様々な商品が爆発的に売れました。「オタク」の私は、漫画やゲームの流行にもれなく飲み込まれ、衝動買いをしてしまいました。特にそのゲームは女性に人気で、普段ゲームをしない人にも「癒し」として受け入れられ、発売からわずか6週で販売本数 1,177 万本、世界中で販売されたそうです。

当センター職員では、どれ程の人がこの流行に乗っているのでしょうか。我が家では娘がゲームを独占してしまい、私は殆どできていません。ちなみにこのゲームは時間泥棒なのでご注意を！



皆でお酒を飲める日が来るまで頑張ろう！

実践することの難しさ

7病棟 M

カンフォータブル・ケアとは、認知症者が心地よいと感じる刺激を提供することで、認知症周辺症状を軽減するためのケア技術です。①常に笑顔で対応する ②常に敬語を使う ③相手と視線を合わせる ④相手に優しく触れる ⑤相手をほめる ⑥こちらから謝る態度をみせる ⑦不快な事は素早く終わらせる ⑧演じる要素をもつ ⑨気持ちに余裕をもつ ⑩相手に関心を向ける の10項目を基本技術としています。

この度私は、カンフォータブル・ケアを実践できる病棟に配属となりました。この10項目を実践しようと意気込んでいましたが、なかなか実践に移せない時があります。もどかしさと共に、自分が行っているケアを患者はどう感じているのか、病状にどんな影響を及ぼしているのか、気にかけてながら日々業務を行っています。

認知症ケアに精通していない私は、このケア技術を知り看護観が変わりました。今後でもできることから続けていきたいと思っています。



「見る」「話す」「触れる」というコミュニケーションを大切にしてください！